

築城 400 年に向けて福山の  
様々なムーブメントを統合ブランディング



一貫性のあるまちづくりのヴィジョン

**エリアムーブメント（駅前再生PJ・築城400年）**

+

**シビックプライド（ローズマインド・地元愛）**

## 着眼点 1

# 福山の施設は、**福山城**や**バラ**を モチーフにしたものが多い

リーデンローズ = 市内を流れる芦田川や福山城の別名「葦陽城」から取った葦と、市の花に指定されているばらとを合わせた造語。

キャスパ = キャッスルパスの略称。古地図によると「追手御門」の位置にあたる。

## 着眼点 2

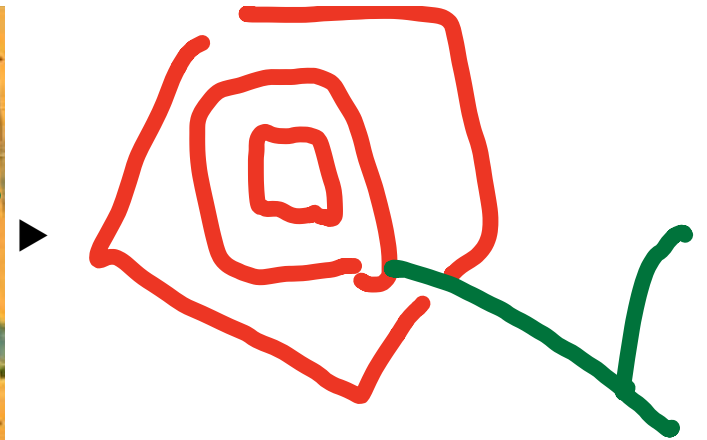
福山の**バラ**のはじまりは、  
戦災の復興の願いを込めて、  
市民が **1000** 本のバラを植えたことがはじまり

「世界に誇れるばらのまち」をめざし、福山ばら祭をはじめ、さまざまな活動を展開しています。そこには、ばらを通じて“思いやり・優しさ・助け合いの心”を表す「ローズマインド」をはぐくんでいこうという思いがあります。

= **ローズは、希望・笑顔**

着眼点 3

まちの骨格（古地図）をバラに見立てる



シンボル（福山城・バラ）を重ね合わせて、まちの見方を変えてみる。

1000 の希望を福山から

サウザンドローズ

## 展開案 1

# バルセロナのまちづくり

例：フィアレスシティ。2020年1月にバルセロナで発表された「気候非常事態宣言」を受けての声明。気候変動対策として、市民から提案された240の行動計画。

サウザンドローズ＝メイン名称に数字をいれることにより、日常的に行動指針を喚起することが狙い。

展開案 2

# 1000 の笑顔プロジェクト



バラを希望・笑顔と関連付けるために、市民の笑顔を集める



## 展開案 3

# フタコハートストリート



二子玉川で行われているマスキングテープの市民参加型アートを参考に、福山ではバラをモチーフに市民参加型のストリートアートを展開。  
また SNS などを活用して、駅前の動きと合わせて発信を行う。